平成26年度の営農へ向け、新しい農業政策を紹介

新農政説明会を開催し、農業情勢の共有化を図る

▲新農政の詳細について理解を深める組合員

平成26年度の農業政策について理解を深めてもらおうと、ＪＡは1月24日に組合員を対象とした新農政説明会を開催しました。

説明会には組合員約２００名が参加。ＪＡ中央会の梅川東志郎氏と高橋幸毅氏を講師に、政府が取り組む①10年間で農地集積・コスト削減による、農業の所得倍増。②２０２０年までに六次産業化を10兆円規模化・農林水産物の輸出額10兆円達成の概要が紹介されました。また経営所得安定対策・水田フル活用・米政策等の交付金変更が説明され、参加した組合員からは広範の周知に向け、再度の説明の機会が求められました。

▶質問を行う参加者

ＪＡ山うど部会が、目揃会を開催

『白神山うど』の、更なるブランド強化を目指す

▲高品質山うどの出荷を目指し、出荷規格を確認する生産者

特産品である『白神山うど』の出荷最盛期を前に、ＪＡ山うど部会(桜田和浩部会長)は1月14日に目揃会を開催し、出荷規格や販売体制の確認を行いました。

はじめに桜田部会長が「全体的に生育は順調なので、温度管理などを適正に行って高品質山うどを収穫し、市場に安定供給してほしい。」と挨拶。今年度の販売高は1億8千万円の見通しで、市場関係者からは「産地である群馬や栃木が、台風等で収量・品質に影響を受けている。この好機を活かすためにも、早めの出荷をお願いしたい。」と期待を寄せていました。

コンクールを通じて、交通安全意識向上を目指す

藤里小学校の桂田健吾くんが、交通安全ポスターコンクールで金賞を受賞

▲受賞したポスターを手に、笑顔の桂田健吾くん

ＪＡの交通安全ポスターコンクールの表彰式が行われ、藤里小学校２年生の桂田建吾くんが金賞および特別賞を受賞しました。

ＪＡ共済では交通安全への意識向上と地域への浸透を目指し、毎年小・中学生書道・交通安全ポスターのコンクールを実施しています。

受賞した桂田くんは、「金賞を取れてとてもうれしいです。横断歩道を渡る際は、いつも左右確認を忘れないようにしています。」と話してくれました。藤里町では交通死亡事故ゼロが４，５００日を超え、県内市町村記録を更新しています。